



調布社協法人化50周年を記念して ひとことメッセージを いただきました！

利用者、事業協力者、地域のみなさんから、“こんな社協になってほしい”をテーマにひとことメッセージをいただきました。ふくしの窓（令和3年9月10日号）で掲載しきれなかったメッセージをこちらでご紹介します。

通所型サービス「アイビー」利用者

「アイビーには感謝しています。

これからも**今まで通り**のアイビーでいてほしい。」

通所型サービス「アイビー」事業協力者

「現在、コロナが落ち着かない状況でアイビーは感染対策をして**安心して集まれる貴重な場**です。**ここへ来れば歌って楽しい、元気が出るよ、**とっていただけるようにといつも願っています。」

高齢者会食ボランティア、その後利用者

「社協は一生懸命やっているとします。**引き続き頑張ってください。**」

ふれあい給食 利用者

「**感謝される社協**」

こころの健康支援センター 利用者

「今までのように登録者が**気軽に相談できる**センターであってほしい。」

作業体験デイサービス「若草」利用者

「コロナが落ち着いて、**一日とおして若草で活動できる日**がくることをねがっています。」



調布社協

法人化50周年

ボランティアグループ代表

「他の活動グループとの交流の場作り」

ボランティアグループ代表

「これまで通り、より個別に対応してくれる社協」

ボランティアグループ代表

「生活サポートの目線から障がい者、高齢者、貧困家庭の子供達だけでなく様々な社会的弱者への対応を社協の強みを活かして、見直して欲しい。」

ボランティアグループ代表

「社協のみなさんには、交流の機会、いつでも、誰でも遊べる場所の確保をお願いしたいと思います。そんな場所があったら、ひとは寄り集まり交流の輪ができると思います。」

こころの健康支援センター 卓球ボランティア

「都内でも先駆的なこころの健康支援センターが開設15年経ち、更にセンター、そして社協が深まっていくことを期待しています。」

地域住民

「これからもみんなが笑顔になれるように力を借りたい。」

たくさんのメッセージをいただき、ありがとうございました。

さらに、50周年記念誌にも多くの方々や団体からメッセージをいただきました。10月1日以降にHPでご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

これからも地域のみなさんとともに「いつまでも住みつけたいと思うまちづくりをめざして」の理念を大切に進んでいきます。

